

○ 会 議 録

会 議 名	令和2年度 第4回基山町男女共同参画推進プラン策定委員会			
開催年月日	令和3年1月19日			
開催場所	基山町役場3階301・302会議室			
開閉会日時	開会	令和3年1月19日 午後2時		
	閉会	令和3年1月19日 午後2時55分		
出席者並びに 欠席者 出席8名 欠席1名	氏 名	出・欠	氏 名	出・欠
	川久保 三起子	出	末吉 正夫	出
	江藤 裕子	欠	山内 ともこ	出
	野田 あや子	出		
	中村 眞智子	出		
	山里 孝子	出		
	武若 宏明	出		
	松隈 孝文	出		
会議録署名人	山里 孝子 中村 眞智子			

～14時開会～

令和2年度第4回基山町男女共同参画推進プラン策定委員会 会議録

1. 議事

(1) 推進プランの素案について

2. その他

- ・ 第5回策定委員会の開催について

【事務局】第2期基山町男女共同参画推進プランの素案を作成しました。本日は、素案についてご審議頂きたいと思います。

— 推進プランの素案について説明 —

【会長】事務局から推進プランの素案について説明がありましたが、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

【委員】今回の第2期男女共同参画推進プランは、現プランを踏襲したつくりになっていると思いますが、現プランでは「町民に期待される取り組み」とある部分が、今回の素案では「今後の方向性」と変更になっていますが、変更した理由を教えてください。

【事務局】現プランの記載は、「行政の取り組み」があり、協働という視点から次に「町民に期待される取り組み」という記載の順番になっていました。今回は、先に「今後の方向性」を示し、その後に「行政の取り組み」を持ってくるように記載方法を変えさせて頂きました。

【委員】そうすると「今後の方向性」の表現がおかしいと思います。現状は、呼びかける形になっているので、行政の立場として表現しているのならば、そのような表現にしないと誰に対して言っているのか分からないと思います。

【事務局】ご指摘のとおり誰に対しての文言が分かりづらくなっていると思いますので、内容は変えずに語尾等を修正して分かりやすくしたいと思います。

【委員】現在、素案の書き方では、「今後の方向性」の部分が町民への呼びかけになっていますので、行政の方向性を書いているというのは、無理があるのではないかと思います。行政も町民も同じ方向を向いて行きましょう、ということであれば表

現が変わってくると思います。これは、誰に対しての呼びかけなのか、はっきりしないとあいまいな表現になるのではないですか。

【事務局】今の素案の作り込みの仕方は、行政の立場で書かないと繋がっていかないと考えております。

【委員】そうすると、呼びかけという形ではないということですね。

【事務局】そうなります。

【委員】26ページからの基本課題②「男女共同参画を推進するための教育・学習機会の充実」についてですが、男女共同参画を推進するにあたり小さいところからの学習は、とても大事なものだと思います。そういう風に見ていくと「学校教育及び社会教育において、男女共同参画に関心を持ちましょう」というのは、行政として、学校として、社会教育として、そういうことを推進していきますよ、という事を具体的に方向性として書いた方が良いのかなと思いました。  
26ページの「学校での男女の扱いの違い」の帯グラフについてですが、現状と課題とグラフの内容が一致してない気がします。現在、比較したような書き方になっていますので、そういった書き方では、誤解をまねくのではないかと思います。

【委員】今の質問に関連してですが、アンケートの集計部分に記載してある「どちらかと言えば」とはどういう判断ですか。アンケートの中にそういう質問があって今回の素案に載せているのですか。

【事務局】「どちらかと言えば」という表現は、アンケートの中の選択肢として掲載しています。  
また、グラフの内容と文章の表現が合っていないというご指摘ですので、事務局で文章を修正いたします。

【委員】記述の仕方として、比較というよりも、まだそのように感じている方がいるという書き方にした方が、良いと思います。

【事務局】アンケートの別の部分に男女の平等感というグラフがありますが、学校教育の現場は、平等感が進んでいるという結果が出ております。そういった内容を追記するというのはどうでしょうか。

【委員】教育の中や保護者の方の意識、もちろん学校教育の理念の中にも、ここ10年でジェンダーの意識は高まっていると思います。昔は考えられなかった、ジェンダーの制服やLGBTの方への対応、道徳だったり人権教育の中にも、小さいころ

から意識して学習を取り入れているので、ここ10年で大きく変わっています。ですが、まだその中でも家庭や地域の方の影響もあってお母さんが家事をする人、お父さんが働く人といった意識が、まだこれだけ残っているといった方が良いと思います。

【委員】グラフの色使いについてですが、肯定的な回答は暖色系の色、否定的な色は寒色系の色で統一してもらおうと、比率が一目でわかりやすくなると思います。

【事務局】併せて修正したいと思います。

【委員】「今後の方向性」と「行政の取り組み」についてですが、記載の順番次第で違って来るかと思います。順番を逆にして、行政がこういう取り組みをしますよ。だから、町民の皆さん関心を持ってくださいねという流れの方が理解を得やすいのではないかと思います。

【事務局】現プランが「町民の皆様にご期待される取り組み」となっていますので、「行政の取り組み」があって「町民の皆様にご期待される取り組み」の記載の順番となっていました。

しかし、10年間の計画で「町民の皆様にご期待される取り組み」をお願いする書き方とするよりも、実行計画が進むように「町民の皆様にご期待される取り組み」の部分を前に持ってきて「今後の方向性」とする。見え方として、次の行政の取り組みに繋がる様に書き直しをさせて頂きたいと思います。

記載の内容については、もう一度各担当課に、表現も含めて修正をお願いし、統一感のある物に合わせて、次に繋がる様に直させて頂きたいと思います。

【委員】素案の建付けは、第1次の推進プランとほとんど同じとなっていますよね。ならば第2次プランを作る際に何をベースに作るかですが、第1次のプランがあり、そのための施策の計画があり、「何をやったのか」という施策の総括・評価があるのではないかと思います。次に、今回アンケートを取りました。前回のアンケートとどういう違いがありましたかという分析がありました。最後に10年の間に法整備等の考え方の変化があり環境が変わりました。という3つのファクターを踏まえた上で、今回、第2次のプランを作りましたという展開でないと、第2次プランの意味がないと思います。結果として1次と中身が一緒かもしれないですが、そういうストーリー展開で行く必要があると思います。

例えば、前回アンケートの内容について当委員会で説明いただき、前回調査との差が出てきてきましたけど、プランの中でその差の説明については、最初の方に少し出てくるだけで、後の施策の記述の箇所には、前回との比較はほとんど出てきてないと思います。今回のアンケートの数字の意味をどうとらえるかというところが入っていないというのは、どうなのかと思います。

【会 長】土台は現行の第1次プランです。第1次プランの策定から10年たっていますので、第2次プランの策定にあたり、内容は、時代に合わせて変わっていくものだと思いますが、土台は第1次プランと一緒にですので、今回の素案の内容が横に反れているというわけではないと思います。

【委 員】内容が反れていると言いたいわけではなく、計画として変わらないのは分かります。しかし、ストーリーとして、第2次の素案をみると、過去の10年間は何だったのかというのを感じます。過去の10年間は何も無しに、これから新しい10年間がスタートしますというような筋立てになってませんかと言っています。プランに載せるかどうかは別として、そういったことも踏まえた上で作るべきではないですか。

【事務局】丁寧な説明が少し足りなかったというご指摘だと思います。まとめ方としては10ページから20ページまでの間に、これまでの評価に対しての部分については、記載させていただいております。さらに21ページの体系図で、前回骨子を固めて頂いた部分について分かりやすく修正させていただきました。アンケートについては、ご指摘頂いたとおり、十分に説明できてない部分もありますが、それを参考にして10ページから20ページにかけて、これまでの評価をつけさせて頂いている所ですので、ご理解いただきたいと思います。

【委 員】この会議に参加している人たちは、前回の策定委員会の内容もありますので理解されていると思いますが、一般の方は、そういったことを理解されるかなと心配しています。さらに、一番気になったのは、施策は何をどうやって展開されていたのかという事です。10年間の取り組みは、どこにも出てこないのですか。

【事務局】今、ご指摘頂いた部分は、男女共同参画の社会が実感できていないというアンケートの結果に直結する部分だと思います。今後、第2次プランが出来上がった際には、毎月1回程度、広報に男女共同参画の広報欄を設け、男女共同参画の推進に向けて発信をしていきたいと考えているのと、内部で男女共同参画事業の評価を行っております。それについても外部にしっかりと発信できる仕組みを作りたいと考えています。

【委 員】評価しているとは、誰が評価されるのですか。

【事務局】60ページの推進体制にあるのですが、「本プランを実行性のあるものにするため、「基山町男女共同参画推進委員会」を設置し、事業の進捗状況の点検・評価を行います。」と示させております。

【委員】それは、点検・評価の内容を冊子に纏めていくという意味ですか。

【事務局】ここでいう点検・評価についてですが、各課が事業内容を掲げていますが、その進捗結果を報告するという形になると思います。そこで課題があればご指摘頂いて、さらに前に進めていくといった内容の会議を開いていきたいと考えております。

【委員】職員は異動があると思いますが、異動があつて人員が変わつたとしても、きちんと検証ができるようにしてもらわないと、結果的に住民には何も伝わらないと思います。具体的な目標値を作り、我々が検証できる仕組みを作らないと納得できないというのが私の意見です。

【委員】目標にすると達成するのが大変だから、追うべき数値を作つて一年間で検証していくのはどうでしょうか。例えば、役所の中の女性の管理職の人数はどうなっているのかとかを、目標としなくてもいいけど、施策の結果として、そういった数値を追っていくのはどうかと提案します。

【事務局】指標となる数値は、たくさんありますので、それを活用していくと客観的にも説明できますので、それをやりたいと思います。職員の異動があつたとしても進捗をしっかりと管理してやっていきたいと思います。

【会長】審議事項については、これくらいでよろしいでしょうか。

— 意見無し —

【会長】それでは、その他について事務局お願いします。

【事務局】今回、素案の内容をご審議頂きました。本日頂いたご意見について、その修正を条件に素案の内容を認めて頂けるのでしたら、修正したものを会長にご確認いただき、それを計画案として27日に町長に報告し、それを持って、この男女共同参画推進プラン策定委員会は、一旦終了とさせて頂きたいと考えております。パブリックコメントの後、大きな修正が必要となれば、もう一度策定委員会の会議を開きたいと考えておりますが、それが無ければ、内容の決定した最終のものをお配りさせて頂き、皆様への報告に代えさせて頂きたいと考えております。

【会長】ただ今、事務局から提案がありましたが、皆様いかがでしょうか。

【委員】事務局の提案の前に一つ質問をしても良いでしょうか。2月4日に総合計画の審議会がありますが、男女共同参画推進プランは、総合計画とリンクしていくので

しょうか。

【事務局】総合計画の内容とリンクした内容となっております。ただ、男女共同参画推進プランとして大きな方向性を書いていますので、内容は、包含してしまうのではないかと考えています。

【委員】推進体制についてですが、男女共同参画庁内推進会議は、庁内にありますよね。メンバーとしては、何名でどういう体制ですか。

【事務局】男女共同参画庁内推進会議というのは、庁内の管理職で作った会議です。その下に男女共同参画推進員も各課におり、担当レベルで修正を行っております。進行政管理等につきましては、庁内の推進委員会が行っております。今後は、進捗管理について、外部の方でできるようにと考えております。

【委員】自己チェックで終わらないために、外部の方を入れた評価は必要だと思いますのでよろしくお願いします。

【会長】事務局が提案したスケジュールの件はいかがでしょうか。

【委員】大きな変更が無い限りは、事務局にお任せしたいと思います。

【会長】本日出た意見の修正をした上で、町長に計画案として報告して良いという意見が出ましたが、皆様、いかがでしょうか。

— 異議無し —

【会長】本日、いろいろな意見が出たと思いますので、事務局は修正をお願いします。

【委員】最後に質問しても良いですか。

各課に男女共同参画推進員がいると言われましたが、各課の男女共同参画推進員に対して個別に質問をしても良いですか。

【事務局】問題無いと思います。ただ、答えることが出来るのは、その課の男女共同参画に関係する事になるかと思っています。

【会長】他に何かご意見ありますでしょうか。

— 意見無し —


【会 長】無いようですのでこれで、第4回基山町男女共同参画推進プラン策定委員会を終了したいと思います。  
皆様、本日はありがとうございました。

～14時55分閉会～



基山町男女共同参画推進プラン策定委員会設置要綱第7条の規定により、ここに署名する。

令和 3 年 2 月 16 日

委員長 (氏名) 山里孝子 

委員 (氏名) 中村真智子 